

会津北嶺 一時は逆転劇



会津北嶺―聖光学院 五回、得点して喜ぶ会津北嶺の選手たち

会津若松から「北嶺」応援

市役所で市民ら「3点は収穫」

会津若松市役所の1階にある市民ホールでは大型モニターに決勝戦が映し出され、会津北嶺に市民が声援を送った。市は応援にやって来た市民にメガホンを配布し



会津北嶺が五回に3点を入れ、喜ぶ市民ら。会津若松市役所

た。五回に3点を入れて勝ち越すと、メガホンが激しく打ち鳴らされた。終盤には昼休みに入った職員も立ち寄り、100人近くになった。最前列では、北会津中学校野球部の三橋唯華さん(13)、会津ジュニアベイスボールクラブに所属する矢野さん(11)、佐更さん(9)の3姉弟が試合を見守った。唯華さんは「北嶺はこの大会、調子が良かった。負けちゃったけど、聖光学院から3点取れたのは収穫」、矢野さんは「打撃が良いので勝てると思ったんだけど、メンタルの差かなあ」と話していた。(森北喜久恵)

「みんなで困難乗り越えた」



八回、外野フライを捕球する会津北嶺の五十嵐悠斗主将

会津北嶺・五十嵐悠斗主将

チームはノーシードから、夏の福島大会で初めてとなる決勝戦に臨んだ。九回2死一塁、会津北嶺の五十嵐悠斗主将(3年)の打球は相手一

塁手の前へ転がる。カバリーに入った投手が塁を踏んだ。頭から滑り込んだが間に合わず、ゲームセットを迎えた。

「下克上しよっぜ」を合言葉に、一つずつ勝ち上がってきた。2回戦でシード校の東日大昌平を破り、五十嵐主将は「自

「どんな困難にも立ち向かうこと」と、趣旨を説明していた。

戦いを終えて、どう感じているのか。決勝の後、「優勝できればホントに『overcome』だったとは思いますが」と言葉をつなげた。でも、僕たちは試合が終わるまで、いろんな困難をみんなで乗り越えた。悔いはないです。練習してきたことを出し切れたので、この大会、ずっと楽しかったです」

涙で顔はぐしゃぐしゃなのに、表情はすーっと笑顔だった。(西堀岳路)

あきらめない姿両校ともみせた

閉会式

試合終了後のグラウンドでは閉会式があり、県高校野球連盟の酒井祐治会長から優勝した聖光学院の選手たちに優勝旗と優勝盾が手渡された。準優勝した会津北嶺には、準優勝盾が贈られ、両校の選手たちにメダルが授与された。

朝日新聞福島総局の大月規義総局長は閉会のおいさつで大会を総括し、聖光学院には「先制されてもあきらめず、計算さ

れたかのように逆転する試合は見事だった。甲子園で全国制覇を成し遂げてほしい」と激励。会津北嶺には「ノーシードから勝ち上がり、今日の試合も最後まであきらめず感動した」とたたえた。(東郷隆)

熱く泥臭くやりきれた

聖光学院・竹内啓汰主将 相手の勢いにのまれ、自分たちらしい熱く泥臭い野球をやりました。苦しい試合はかりだったが、ひとつずつ

耐えてチャンス生かす

聖光学院・斎藤智也監督 激戦になると思っていて、最後によく粘り勝ちしてくれた。今大会、5試合のうち逆転勝ちが4試合。ビハインドの苦い

やってきたことできた

会津北嶺・五十嵐悠斗主将 少し緊張したが、楽しかった。得点した回は、練習でやってきたことがしっかりできた。全員が目標に向けて強い思い

選手の成長驚いている

会津北嶺・木口要監督 間での成長ぶりに非常に驚いている。とても大きな財産になったと思う。3年生の思いを1、2年生がしっかり引き継ぐ。

ノーシードから挑んだ